



ロシアは武力侵攻黙認を求めている？

ロシアのプーチンは、更に、ロシアはウクライナ国境に十万の軍を配備、威嚇中。これは明らかに国連憲章違反の行為。EUや米国は「クリミア併合を認めない」と云うがEUはロシアの天然ガスに頼っている。米国もかけ声だけ？

欧諸国の集団的自衛を標榜するNATO(北大西洋条約機構)がロシアに迫るのは困る」と云う訳だ。

国連憲章は

武力ではなく返還を

憲章第二条四項には「加盟国は、その国際関係において、武力による威嚇又は武力の行使を：・慎まなければならぬ」とある。

しかし、ロシアは二〇一四年にウクライナ領のクリミア半島とセヴァストポリ特別市に軍を送り込み、ウクライナの承諾無しに併合。アゾフ海のウクライナの港には行けない。

ウクライナがNATOに入ってから、ロシアが武力行使すると、NATOとぶつかる。プーチンはそれを避けた。そこでウクライナがNATOに入らない保障を求めている。これは、ウクライナ侵攻黙認を求めるとんでもない事。

何より国連憲章に従いクリミアを返すべきでは？

皆さんはどう思われますか？



冬のメタセコイア

横浜市南区六ツ川三丁目
二〇二二年二月



よこはまこども植物園は東海道の権田坂の近く、児童遊園地の向かいにある。小麥の染色体研究の木原均博士の研究所跡地に一九七九年に設立された。節分の直後だったので、その名もズバリ「セツブンソウ」が咲き始め、そばには福寿草も。南門近くに二十mを超えるメタセコイアの並木がある。メタセコイアは化石だけで、絶滅したと思われるが一九四六年に中国四川省で現存が見つかった。

落葉樹で今は枝の先に枯れた葉が下がっているのみ。スタツフの方に「垂れ下がった枝は春には持ち上がるのか？」と質問したら「上がり下がりはない」と云われた。新緑の美しい春に再度スケッチしたいもの。

